

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：公文書管理とアーカイブズの世界（入門） ILAS Seminar :Introduction to Records Management and Archival Administration			担当者所属 職名・氏名	大学文書館 特定准教授 橋本 陽(ハシモトヨウ)		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	受講定員 (1回生定員)	15 (10) 人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	木5	教室	共北35			使用言語	日本語
キーワード	アーカイブズ / 公文書 / 歴史資料 / 電子文書						
[授業の概要・目的]							
近年、省庁における記録の改ざん指示や未作成、あるいは手間のかかるはんこの押印など主に負の側面から公文書管理が注目を集めています。こういった文書管理の問題を考えるにあたって有益な視点を提供してくれるのが、アーカイブズ学と言われる学問分野です。アーカイブズ学は、図書館で保管される書籍や雑誌といった出版物とは違い、契約書や議事録など組織における業務の記録や、日記や書簡など個人活動の記録を研究する学問です。もともとは主に歴史的な紙の資料を扱ってきましたが、現在はデジタル形式でつくられる電子記録およびデータにも研究の対象を広げています。本講義の目的は、このアーカイブズ学の基礎を理解することです。 具体的には、アーカイブズの定義を説明した後、その作成・管理・保存の方法、検索システム、利用者の閲覧方法などについて触れていきます。また、記録のデジタル化、電子署名やブロックチェーンといった現代のテクノロジーと記録の問題についても考えます。							
[到達目標]							
・アーカイブズについて説明できる ・国内外のアーカイブズを調べ、各自の研究テーマに即した資料の申請ができるようになる							
[授業計画と内容]							
基本的に以下のプランに従って講義を進めます。ただし、講義の進みぐあい、時事問題への言及などに対応して順序や同一テーマの回数を変えることがあります。 第1回 ガイダンス 第2回 アーカイブズの定義 第3回 アーカイブズの社会的役割と記録のライフサイクル 第4回 記録の評価と廃棄 第5回 記録の整理と検索システム 第6回 アーカイブズに関する法規 第7回 大学文書館見学 第8回 アーカイブズ学の歴史 第9回 偽書と古文書学 第10回 電子記録の作成・維持管理・長期保存 第11回 デジタル・フォレンジックの応用 第12回 電子署名とブロックチェーン 第13・14回 口頭報告 第15回 フィードバック（方法は、授業中に伝えます）							
----- ILASセミナー：公文書管理とアーカイブズの世界（入門）(2)へ続く↓↓↓							

ILASセミナー：公文書管理とアーカイブズの世界（入門）(2)
[履修要件]
特になし
[成績評価の方法・観点]
授業中の討論への積極的な参加（30点）、口頭発表（30点）、レポート（40点）により評価します。口頭発表とレポートは単位取得のために必須となります。
[教科書]
使用しない
[参考書等]
（参考書） エリザベス・シェパード, ジェフリー・ヨー共著；森本祥子, 平野泉, 松崎裕子編・訳 『レコード・マネジメント・ハンドブック：記録管理・アーカイブズ管理のための』（日外アソシエーツ, 2016）ISBN:978-4816926112 大阪大学アーカイブズ編 『アーカイブズとアーキビストー記録を守り伝える担い手たち』（大阪大学出版会, 2021）ISBN:978-4872596441 下重直樹, 湯上良編 『アーキビストとしてはたらく 記録が人と社会をつなぐ』（山川出版社, 2022）ISBN:978-4-634-59125-7 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館 編 『アーカイブズ学入門』（勉誠社, 2024）ISBN:978-4-585-30012-0 アーカイブズ学用語研究会 『アーカイブズ学用語辞典』（柏書房, 2024）ISBN:9784760155316
[授業外学修（予習・復習）等]
国内や海外（主に英語圏）の事例を調べてもらうなど予習が必要な場合は、授業中に指示します。 復習については、授業で説明した箇所を参考文献で調べ、理解を深めておくことを求めます。
[その他（オフィスアワー等）]
インターネット、電子メール、PowerPointなどは、授業の中で使えるように指導します。
[実務経験のある教員による授業]
①分類 実務経験のある教員による実務経験を活かした授業科目 ②当該授業科目に関連した実務経験の内容 該当教員：橋本陽、実務経験：立教大学共生社会研究センター、帝国データバンク史料館など（アーキビスト） ③実務経験を活かした実践的な授業の内容 複数のアーカイブズでの勤務や海外のアーキビストとの共同プロジェクトの経験を踏まえ、理論と実践両方の視点から講義を行います。
[主要授業科目（学部・学科名）]